
グリーン建築フォーラム第17回シンポジウム 脱炭素社会に向けた住宅・建築物のロードマップ

～「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」のとりまとめを受けて～

日時：2021年11月29日（月）13:30-16:30

開催方法：Zoomによるウェビナー方式

主催：グリーン建築フォーラム(GBF)、(一財)建築環境・省エネルギー機構

共催：(一社)日本サステナブル建築協会

参加費：無料 定員：400名

主旨：2050年までの脱炭素社会の実現を基本理念とする地球温暖化対策推進法が2021年5月に改正され、国土交通省・経済産業省・環境省連携の検討会でとりまとめられた「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方・進め方に関するロードマップ」が8月23日に公表されました。本シンポジウムでは、このロードマップを読み解き、住宅・建築物の先導的な取組事例を情報共有し、2050年までの住宅・建築物の脱炭素化に向けた対応方針を議論します。

プログラム概要 ※今後変更することがあります

司会：吉野博氏（東北大学名誉教授）

■ 開会挨拶（5分）

村上 周三 氏（(一財)建築環境・省エネルギー機構 理事長、グリーン建築フォーラム代表）

■ 基調講演：脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方・進め方ロードマップ（20分×2）

- ・脱炭素社会に向けた住宅・建築行政の取組みについて 今村 敬 氏（国土交通省住宅局参事官(建築企画担当)）
- ・ロードマップをめぐる関連動向（仮題） 田辺 新一 氏（早稲田大学教授）

■ 話題提供

1) 住宅の脱炭素化ロードマップ いずれも仮題（15分×2）

- 1-1 戸建住宅と低層賃貸住宅の取組事例 近田 智也 氏（積水ハウス執行役員環境推進部長）
- 1-2 共同住宅の取組事例 若林 徹 氏（長谷エコーポレーション理事）

□ 休憩（10分）

2) 建築物の脱炭素化ロードマップ いずれも仮題（15分×3）

- 2-1 設計事務所の取組事例 堀川 晋 氏（日建設計常務執行役員）
- 2-2 建設会社の取組事例 高井 啓明 氏（竹中工務店プリンシパルエンジニア）
- 2-3 不動産会社の取組事例 鯉淵 祐子 氏（三菱地所スマートエネルギーデザイン部長）

■ パネルディスカッション（45分）

司会：伊香賀 俊治 氏（慶應義塾大学教授）

パネリスト：講演1部、講演2部の講演者

■ 閉会挨拶（5分）

坊垣 和明 氏（東京都市大学名誉教授）

■お申込み先 URL・QRコード： https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_VT--PmjaQb0GuS5ZqAqlnw

■オンラインシンポジウム（ウェビナー）についてのご注意

- ・今回は「Zoom ウェビナー」を使用したオンラインシンポジウムです。
- ・登録申込にあたっては、Zoom ウェビナーの登録システムを使用しております。ご了承ください。

シンポジウムについてのお問い合わせ先

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) 建築環境部(グリーン建築フォーラム担当)

e-mail: greenbf@ibec.or.jp TEL 03-3222-6690

